

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2019. 3. 25

下水道機構の『新技術情報』 第373号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

21日に気象庁は、東京の靖国神社にある標本木を観測し、桜の開花を発表しました。開花の予測方法として「600度の法則」というものがあります。これは「2月1日以降の最高気温を累積し合計600度を超えると開花する」というものです。今年は20日に600度を超え、開花は21日でした。

この予測方法の精度は、東京では2012年は2日遅く、2013年は3日早く、2014年は一致という結果で、なかなかの成績です。

今年はどこでお花見するか胸がわくわくしてきますね！！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第373号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・平成31年度の審査証明受付期間について

■機構の動き

- ・第15回評議員会
- ・平成30年度 建設技術審査証明事業（下水道技術）交付式（1技術）
- ・平成30年度 新技術研究感謝状贈呈式

■Tea Break

- ・安全具を使用するアスレチック体験（モンタマさんからの投稿です）

■研究成果のおさらい

- ・下水道管路長期改築計画策定に関する共同研究
- ・効率的な下水道ストックマネジメント計画策定支援に関する調査検討

■ピックアップ！機構情報

- ・講演ダイジェスト
第374回技術サロン
（これからのJSにおける事業展開）

■はしわたし

- ・今週はありません。

■国からの情報

- ・3/22付下水道ホットインフォメーション

●平成 31 年度の審査証明受付期間について

下水道機構が行う建設技術審査証明事業（下水道事業）では、民間企業において研究開発された下水道に係わる技術を対象に審査を行い、その性能、特長等を客観的に証明しています。証明書が交付されたそれぞれの技術は、「報告書」や「技術概要書」等が作成され、全国の地方公共団体等に配布し、公共事業で技術導入の際の判断資料として広く活用されております。

審査証明事業の受付期間：2019 年 4 月 1 日（月）～4 月 26 日（金）

なお、審査証明を依頼するにあたって、必要書類ならびに使用実績や性能確認試験についての内容等については、当機構 Web をご覧いただくか、当機構の技術評価部までご相談ください。

◎ 問合わせ先

公益財団法人 日本下水道新技術機構 技術評価部

TEL:03-5228-6599 e-mail:shinsashoumei@jiwet.or.jp

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●第 15 回評議員会を開催します！

日 時：平成 31 年 3 月 27 日(水) 13:30～

場 所：機構 8 階 特別会議室

案 件：理事の選任方法に関する件（議案）

：平成 31 年度事業計画及び収支予算等について（報告） ほか

●平成 30 年度 建設技術審査証明事業（下水道技術）交付式（1 技術）

日 時：平成 31 年 3 月 28 日(木) 11:00～

場 所：機構 理事長室

案 件：平成 30 年度 建設技術審査証明事業（下水道技術）審査証明書の交付（1 技術）

●平成 30 年度 新技術研究感謝状贈呈式を開催します！

日 時：平成 31 年 3 月 28 日(木) 14:00～

場 所：機構 8 階 中会議室

案 件：平成 30 年度に終了した共同研究について、新技術研究感謝状の贈呈。

- ・下水道管路のマネジメント支援業務に関する共同研究
- ・ゼロ・エミッション型下水処理場の可能性調査研究
- ・降雨情報と実測水位に基づく管きょ内水位把握システムに関する共同研究
- ・下水汚泥由来肥料の安全安心性確認研究に関する共同研究
- ・蒸気間接加熱型汚泥乾燥機の開発に関する共同研究
- ・効率的・効果的な浸水対策に資するポンプゲートに関する共同研究
- ・自立管の製管工法（ら旋巻管）に関する共同研究
- ・低圧損型メンブレン式散気装置の導入マニュアル作成に関する共同研究

○第 380 回技術サロンを開催します！

日 時：平成 31 年 4 月 11 日(木) 16:00～17:00

場 所：機構 8 階 中会議室

講演者：東京都下水道局 計画調整部 エネルギー・温暖化対策推進担当課長 竹俣 政則 氏

テーマ：東京都におけるエネルギー・温暖化対策の取組及び設備再構築の最新事情

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon380>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●安全具を使用するアスレチック体験 (モンタマさんからの投稿です)

先日、家族で小田原にあるアスレチックに行きました。フォレストアドベンチャー小田原というところで、山の形状を巧みに活かした自然共生型のアスレチックです。

このアスレチックの特徴としては、「自分の行動と安全は自分で管理し守る」をテーマに、安全ハーネスを常に装着し、カラビナやプーリーを使用しながら遊具をクリアしていくというところなんです。

メインとなるコースであるディスカバリーコースは、滑車を使い滑り降りるジップスライドが8つあり、その中には最大地上高が18mのものや最大滑走距離が100mを超えるものがあり、大人でも十分恐怖と楽しさを味わえる施設となっています。

特にターザンシングは、5m以上の高さから一瞬飛び降りる形でネットに飛び移るもので、かなりの勇気が必要です。躊躇すると1時間も動けない人がいるとか。

家族5人で約2時間半かかるコースでしたが、ただ楽しいだけでなく、落下防止のカラビナの脱着を常に自分で行うことが必要があるため、子供たちが安全具の使い方や意味を学べる場ともなりました。

山の中を滑車で滑り降りたり、ロープでぶら下がったり、地上10m以上の高さのロープを渡ったり、スリルと爽快さを家族で共有した時間でした。

。○○。

研究成果のおさらい (機構の研究成果(要約版)をご紹介します)

。○○。

・下水道管路長期改築計画策定に関する共同研究(長野市)

長野市の下水道管きよ総延長は平成27年度末時点で2,164km、布設後50年を超える管は約79kmであり、老朽管が徐々に増えていく状況下にあります。本研究では、ストックマネジメントの視点から、長野市における下水道施設の持続的な機能確保に向けた効率的な維持管理計画として、管路施設全体(管きよ、マンホール、ふた、ます、取付管)を対象に、改築計画、点検・調査計画等の各種計画を取りまとめました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-03-25-ab1>

・効率的な下水道ストックマネジメント計画策定支援に関する調査検討

市町村における下水道ストックマネジメントの取り組みは進んでいないのが現状です。そのため、多くの都道府県において、市町村の下水道ストックマネジメント計画等策定に対して、策定支援の取り組みが行われています。本研究では、これらの取り組みの一環として、沖縄県と協力し、県下10市町村を対象に勉強会形式による下水道ストックマネジメント計画等策定支援を行いました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-03-25-ab2>

。○○。

ピックアップ! 機構情報(下水道機構情報 No. 28の中から記事をご紹介します)

。○○。

・講演ダイジェスト

第 374 回技術サロン

(これからの JS における事業展開 日本下水道事業団事業統括部長 岡本 誠一郎氏)

平成 27 年度には、水防法や下水道法の改正とともに、日本下水道事業団法も改正されました。この法改正により業務範囲が拡大し、浸水対策、災害支援などについて支援機能の充実が図られています。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-03-25-quarterly1>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 28 2019. 1 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 27 2018. 7 はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 15 号 (最新刊) はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter15>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。 。 ○ 。

はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

。 。 ○ 。

＼(^-^)/ 皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで → jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。 。 ○ 。

国からの情報

。 。 ○ 。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2019. 3. 15 の情報です)

配信元 : 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 堂菌洋昭

昨日、東京は桜の開花宣言がありました。

家の近くの桜もつぼみが膨らみもうすぐ開花が見られそうです。

いよいよ春ですね。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○特殊繊維担体により余剰汚泥発生量を大幅減 (国土技術政策総合研究所下水処理研究室)

～小規模処理場向けの余剰汚泥削減型下水処理技術をガイドライン化～

○高濃度消化・バイオガス利活用実証施設の稼働（国土技術政策総合研究所下水処理研究室）

～施設のコンパクト化により低コストで多面的なバイオガス利活用が可能～

○【若者向け東京下水道発進プロジェクト】東京地下ラボ by 東京都下水道局（東京都）

○特殊繊維担体により余剰汚泥発生量を大幅減（国土技術政策総合研究所下水処理研究室）

～小規模処理場向けの余剰汚泥削減型下水処理技術をガイドライン化～

国総研は、反応タンクの多段化と特殊繊維担体の利用により、余剰汚泥発生量を大幅に削減することが可能な、オキシデーショondiッチ法の代替となる水処理技術「特殊繊維担体を用いた余剰汚泥削減型水処理技術」の導入ガイドライン(案)を策定し公開しました。

「特殊繊維担体を用いた余剰汚泥削減型水処理技術導入ガイドライン（案）」は、下水道事業者が本技術の導入を検討する際に参考にできるよう、技術の概要・評価、導入検討、設計・維持管理等に関する技術的事項についてとりまとめています。

本ガイドライン（案）は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL： <http://www.nilim.go.jp/lab/ecg/bdash/bdash.htm>

○高濃度消化・バイオガス利活用実証施設の稼働（国土技術政策総合研究所下水処理研究室）

～施設のコンパクト化により低コストで多面的なバイオガス利活用が可能～

国総研では、国土交通省が進めるB-DASHプロジェクトにおいて、「高濃度消化・省エネ

型バイオガス精製による効率的エネルギー利活用技術」の実証研究を進めています。今般、そ

の実証施設が完成し、運転を開始しました（運転開始に伴い、3月26日に完成記念式典が開

催されます）。

※詳細は以下からご覧いただけます。

<http://www.nilim.go.jp/lab/ecg/bdash/2019shinkoushishetsukadou.pdf>

○【若者向け東京下水道発進プロジェクト】東京地下ラボ by 東京都下水道局（東京都）

東京都下水道局では、若い世代の下水道の関心を高めるため、東京下水道の新たな可能性や

魅力を発信するプロジェクト「東京地下ラボ by 東京都下水道局～下水道の魅力を、編集の力で若者が再発見～」を今年度より実施しています。

初年度となる平成30（2018）年度は、大学生等が斬新なアプローチや発進等の編集スキル、

下水道に関する知識について、ワークショップやフィールドワークを通して学び、グループごとに雑誌（ZINE：ジン）を制作しました。

2019年2月13日（水）に成果報告会を開催し、8グループがプレゼンテーションを行い、グランプリに「私と川と、サンドイッチ」、その他審査員特別賞に2つの成果報告が選ばれ

表彰されました。受賞作品は以下の通りです。

【グランプリ】

・タイトル 「私と川と、サンドイッチ」

・作品概要

清流復活事業に着目し、東京下水道の働きによって復活した川と、その川に合うサンドイッチを紹介

【ソーシャル賞】

・タイトル 「下水道のない世界」

・作品概要

下水道がないフィクションの都市を創造し、“ない世界”と“ある世界”を地図にして描くことで、
下水道の社会貢献性や必要性を表現

【メディア賞】

・タイトル 「SEWER AND FASHION」

・作品概要

ヨーロッパにおける下水道が普及する前の不衛生な環境と、それに伴い誕生した衣服でもある
「ハイヒール」、「フープスカート」、「ペストマスク」を歴史的背景とともに紹介

「東京地下ラボ by 東京都下水道局」の取組内容については以下のリンクをご参照ください。

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/10/18/09.html>

受賞した3作品以外の作品も、各々ユニークな発想で東京下水道の魅力を切り取っています。

すべての作品は当局HPで閲覧・印刷することができますので、自由にご活用いただければと思います。

<http://www.gesui.metro.tokyo.jp/business/kanko/chikalabo/index.html>

ワークショップやフィールドワーク、成果物についての詳細は、参加学生が執筆・発信している

WEB サービス「note」※でご覧いただけます。

これからも随時更新していきますので、ぜひご覧ください。

※文章やイラスト等の投稿を通して、クリエイターとユーザーとをつなげるWEB サービス
【東京地下ラボ by 東京都下水道局 note】 <http://note.mu/tokyogesuido>

次世代を担う若い世代に下水道への理解・関心をさらに深めていただくため、
「東京地下ラボ by 東京都下水道局」の取組は、次年度も実施していきます。

【参考情報】

◆福岡市が災害復旧支援協力協定締結〈3/18 九州朝日放送〉

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190318-00010001-kbcv-140>

◆『春の下水道施設見学会～やえざくらに誘われて 下水道とのふれあい～』 [兵庫県小野市]〈3/19 Kiss PRESS〉

<http://kisspress.jp/articles/21500/>

◆東京都調布市、ラグビーW杯デザインのマンホールふた〈3/22 日本経済新聞〉

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>